

日本産酒類の普及・啓発について

国税庁の取組

➤ 国内外における日本産酒類の特性・魅力の発信

- ・ ミラノ万博、国連総会、Yokoso Nippon! (駐 インドネシア大使公邸)、外務大臣主催「世界津波の日」レセプション、伊勢志摩サミット、リオ・オリンピック、アジア税務長官会合等の機会を活用
- ・ IWC (International Wine Challenge) Sake部門の初の日本開催を支援



➤ 知識の啓発

- ・ 外交関係者(各国駐日大使等)向け広報活動
- ・ 国際的に権威ある酒類教育機関(WSET; Wine and Spirit Education Trust)における外国人の日本酒インストラクター養成プログラムへの支援



➤ 研究開発、用語の標準化

- ・ 貯蔵しても劣化しにくい清酒の製造法の研究
- ・ 外国人に日本酒を分かりやすく理解してもらうため、清酒に関する用語の英語表現(Sake Terms)を標準化(例)cloudy sake(にごり酒)、sake rice(酒米)、free run sake(荒走り)



➤ 表示制度の整備

- ・ 地理的表示(GI)制度の改正(H27.10.30)
- ・ GI「日本酒」の指定(H27.12.25)
- ・ ワイン表示ルールの策定(H27.10.30)

